

バス1便当たりの利用者

多い路線で11人、少ない路線で3人

運行収入

年間4千万円

かかる経費

1億3千万円

収支率が12%に満たない路線は廃止も含めて検討する、という市の方針が出ています。しかし、もし廃止となると、高齢者や学生など、車に乗らない人にとっては移動手段がなくなる切実な問題です。

生活の足として、市内12路線を走るコミュニティバス。その現状とは――。



みとよと学ぶ

先手の防災

緊急地震速報が放送されたとき、地震への備えができていなければ身の安全を確保することはできません。日頃から身の回りの安全性をチェック！

M's Lesson ⑤

金具を使い分けて、家具の転倒を防止しよう

●転倒防止金具

壁や柱、かもいと家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって選びましょう。

●扉・引き出しの開放防止金具

さらに、収納物の落下を防止するために、棚板に滑り止めのふきんを敷いたり、木やアルミの棒の飛び出し防止棒をつけると安心です。

金具つけとけばよかった・・・



三豊市の人口 ※平成26年7月1日現在 ()内は前月比
世帯数 23,317 世帯(+6) 総人口 66,361 人(-23) 男 31,599 人(-17) 女 34,762 人(-6) ※香川県人口移動調査による

- 3 特集 コミュニティバスの現状
- 6 靴でつなぐ三豊とアフリカ 高橋尚子さん来訪
- 8 M's Information みとよ暮らしのおしらせ①
人権課からのお知らせ / 『太平洋戦争と三豊』発売中 / ふるさと納税 / 香川県知事選挙 / 情報公開制度・個人情報保護制度 / 国民年金 / 固定資産の異動 / がん検診・健康診査・健診結果相談会
- 12 みとよHOT ほつとNEWS(ホットニュース)
- 14 M's Information みとよ暮らしのおしらせ②
銀河で楽しむ瀬戸内海クルーズ / たくま港まつり / 月見の宴 / 子育て支援課からのお知らせ / 歯周疾患検診 / ジェネリック医薬品差額通知
- 16 M's 深読みひろば
男女共同参画 / じんけん探訪 / 自主防災 / 文化財
- 18 8月のお知らせ
募集 / 相談 / 講座・教室 / イベント / 納税のお知らせ / マリンウェブ情報 / 国際交流協会
- 21 保健・相談
- 22 ここ笑み通信 ~子育てするなら三豊が一番！~
離乳食講習会 / ひとり親家庭 / 不妊治療費助成事業 / 妊婦歯科健診 / M's Smile ふおとぎやらい / 乳幼児健診 など
- 24 みとよ写真帳 / 編集後記



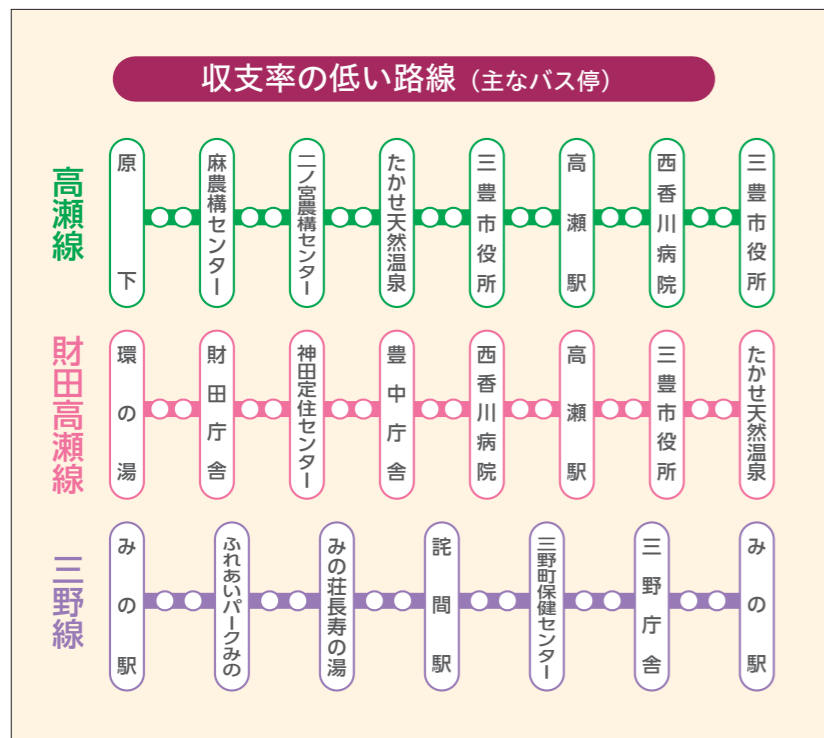
表紙

今月の市民力



「今まで順調に商売させてもらってきた、地域への恩返し」。材木店を営む詫間町の山田健二さん(67)は、残った資材でベンチを作り、バスの停留所に設置しています。ボランティアではじめて、15年。きっかけは、バス停にあったベンチが盗まれ、「立って待つののは気の毒やなあ」と思ったことだそう。「ベンチのデザインにはこだわりがあったが、ハードマークの型を抜いとんよ。それが功を奏してか、特徴が出て盗られんようになったなあ(笑)。作ったものは気になってな、なんかあったらいかんけん、目の届く範囲に置くことにしとんや」と、前を通る度に様子を確認するそう。

「一つ古くなってきたのがあるけん、今年中に取り替えるといかんなあ」。優しい笑顔には、地域への愛が溢れていました。



三野線(11.8%)の3路線です(左図参照)。具体的に高瀬線を例に挙げると、1日の平均乗車人数31.4人。10便運行しているの、1便につき3.1人が乗車していることとなります。1便あたりで、2,792円。運行費用は、2,496円。収入は2,966円、2,496円

アンケート結果

収支率の低い地域において、ニーズを把握し、改善につなげるため、市では、昨年、高瀬線についてアンケートを行いました。そこ

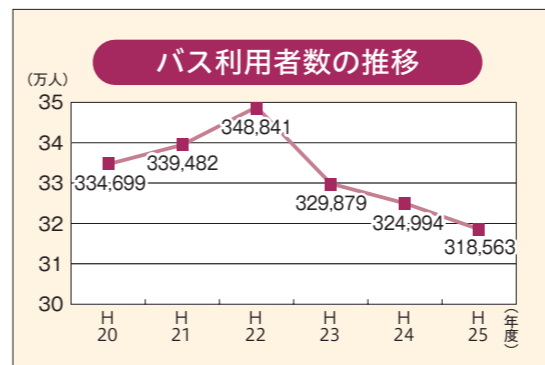
を市が負担していることとなります。

賛成意見

- ◎ 将来歳をとって運転ができなくなったら、バスを活用して、病院・銀行・役所に行くつもり。
- ◎ 退職したら、バスに乗って市内一周をしたり病院や買い物に行ったりし、健康やエコを考えたい。
- ◎ 足をケガしていたときに、家族に迷惑をかけずに三豊総合病院に入院でき、非常に助かった。
- ◎ 乗っている人と運転手の温かい会話や人情に、バスの良さを感じる。もっと利用してほしい。
- ◎ 高校生になるので、利用する機会が増える。
- ◎ 自分が仕事に行っているの、車に乗らない両親にとって、バスは便利だ。

反対意見・改善意見

- ◎ 空気を運ぶ(空で運行する)必要はない。利用のない路線は廃止すべき。



かかる費用

年間約1億3千万円

平成25年度、バスの運行にかかった費用は約1億3千万円。これは主に、バスを運行する委託費や燃料費、車両の維持管理費などに使われています。一方、運行

存続か 廃止か

減り続けるバス利用者数

3年間で3万人減

人口の減少や学生数の減少、自分で車を運転する高齢者の増加などに伴い、バスの利用者はだんだんと減ってきています。上のグラフからも分かるように、利用者数は平成22年度の延べ348,841人をピークに、年々少しずつ減り続け、25年度には318,563人ととなりました。3年間で約30,000人も減っています。路線を維持していくためには市民の継続的な利用が不可欠です。

バス運行の基準

収支率12%未満の路線は廃止も含めて検討

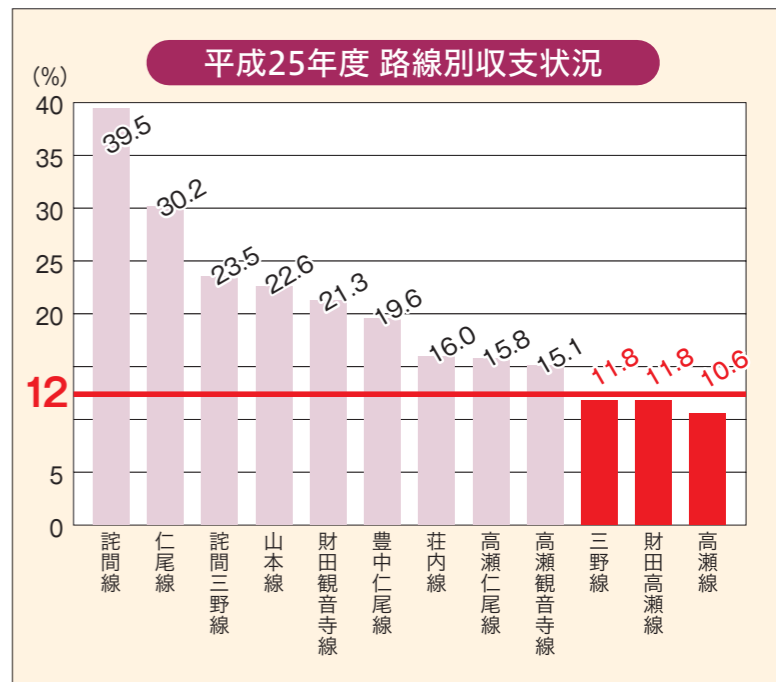
市では、バスの運行を継続するかどうかの判断について、収支率を参考にしています。収支率とは、路線ごとに運行経費と運行収入を比較し、運行経費に対する運行収入の割合を指すもので、この率が12%に満たない路線については、廃止も含めて見直しを行って

路線ごとの状況

1便あたりの平均乗車人数が少ない路線は約3人

路線別にみると、右グラフのとおり、平成25年度の収支率が高いのは、詫間

いきます。これまで、収支率を上げるために、運行を開始した平成19年9月からの7年間、路線やダイヤの見直しを図ってきました。その結果がほとんど見られない路線もあります。



◎ もう少しバスのサイズを小さくすれば維持費も減るのではないか。

◎ 本数、停留所をもっと増やし、手を挙げると乗降ができるというシステムにしてはどうか。

◎ 目的地的によって乗り継ぎが不便。

◎ 料金はもう少し高くてもよい。いっそ廃止してタクシー券を増やしてほしい(運転しない人のみ)。

◎ 改善の余地があるのでは。廃止するのであれば、移動

するスーパーや図書館を走らせてほしい。

コミュニティバスは、車を運転しない高齢者や学生の皆さんが、自分の意思で自由に、自分の望む場所へ行けることを目的に運行しています。これは、ひいては、高齢者の健康増進や生きがいづくりにもつながっています。

今、コミュニティバスの在り方について、考えとてきかっています。

バスに乗って図書館に行こう!

市では、夏休みを利用して、「親子で行こう! コミバス図書館ツアー」と題したちらしを配布し、バスの利用を呼びかけています。子どもたちに広くバスを知ってもらい、同時に、子どもを通し、大人の皆さんにも、もう一度バスを見直す機会を持ってもらうことがねらいです。

家の近くのバス停からバスに乗って、図書館へ向かうコースを地域の図書館ごとに案内しています。図書館に着くまでの車内も楽しいひととき。バスに乗ってゆったりとみよ時間を感じてみてください。



▼問い合わせ 管財課 ☎73・3003